

令和6年8月24日  
函館市見晴らし公園研修室 15:00

## 第2回支部役員会

- 1 支部長挨拶
- 2 司会 (AOH ) 記録 (CBH )
- 3 参加者自己紹介 AOH,RWB,CBH,EJK CSA,XBR,OGL,NNW
- 4 協議事項
  - (1)支部大会について
  - (2)50周年記念行事について
  - (3)非常通信に関わる研修会、ベストの購入斡旋について
  - (4)支部報の発送について
  - (5)青森県支部大会への参加について
  - (6)その他
- 5 閉会

## 支部長挨拶

残暑厳しい中、また、先ほどの科学の祭典の前日準備に引き続き、お集まりいただき、ありがとうございます。また、この職について、2か月が経ちましたが、会員の皆様には、事業へのご理解とご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。今後も皆さんと協力しながら、楽しく、しかも、充実したイベントを企画して参りたいと思います。

最初に、事故報告とお詫びを申し上げます。支部役員の中に、JARLの会費切れに伴う会員ではない方がいることがわかりました。本人も反省し、直ちに会費を振り込む手続きを終えたところであります。私としては、「嚴重注意」とし、みんなの前で仕事をするには、十分襟を正して業務を行うよう指導し、役職を続けてもらうことにしたいと考えております。私の任命権者としての確認不足が原因であり、皆様にお詫び申し上げます。この件について、ご意見などある方はお受けいたします。

次もいい話ではありませんが、私自身のことで、すでに情報が入っている方もいらっしゃると思いますが、ケガについて、報告いたします。8月18日の午後、一人で脚立に上って庭の剪定作業をしていたところ、降りる時にバランスを崩し、1mくらいの高さのところから落ちてしまい、背中と頭を打ちました。起き上がれなかったので、救急車にて、市立病院に搬送されました。幸いにも、頭部、胸部には異常は、見られず、なんとか帰ってきました。次の日は、多少痛い程度でしたが、21日(水)おりしも63回目の誕生日でしたが、胸部に激痛が起こり、呼吸もゆるくない状態になりました。肋骨2本の骨折がわかりました。治療には3週間ぐらいかかるということでした。動くといいたいのですが、ゆっくりだと歩くことも大丈夫です。ご心配をおかけします。皆さんも、アンテナなどの外作業もあることと思いますが、どうぞ、安全第一に、複数で作業をされますようお願い申し上げます。

さて、本題に戻りますが、今日の役員会を皮切りに、明日の青少年のための科学の祭典、9月は支部コンテスト、そして15日支部大会、翌週には札幌でのアマチュア無線セミナー、そして青森県支部大会での交流と、イベントが続きます。

アマチュア無線には、ホームからの運用、移動運用、パソコンを使った通信、モールス、モノづくりなど様々な楽しみがあります。支部では、様々な事業を展開して参りますので、今まで挑戦した見たことのない分野にも、ちょっと首を突っ込んでみるのも、「アマチュア無線の新発見」につながるのではないかと思います。

また、200名弱の支部です。みんなが仲良く、楽しくアマチュア無線を楽しめるよう顔を合わせる機会もできるだけ作って参りたいと思います。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

今日も大切なイベントの審議等がありますが、どうぞよろしくお願ひします。

役員の会費切れの対応には特に異論はでなかった。

全会員からの意見を受け、異議が出た場合は、緊急役員会議などで再検討する。

令和6年8月24日

<佐々木 朗>

## 第49回JARL渡島檜山支部大会の実施計画案3

### 0 支部大会の回数について

昨年、一昨年は、支部大会の称号は使わず、ハムの集いのみの称号としていた。この2回が支部大会（会務、決算の報告、事業、予算の説明など）でなければ、今年が47回目ということになる。しかし、ややこしくなるので、一昨年、昨年も支部大会を実施したものと考え、第49回の支部大会としたい。

令和6年 49回

令和5年 48回（支部大会の称号なし）

令和4年 47回（支部大会の称号なし）

令和3年 実施できず

令和2年 実施できず

令和元年 46回 厚沢部町で開催

### 1 目的

- (1)支部会員が一堂に集い、趣味を同じくする者同士の懇親を深めると共に、通信技術、無線技術の自己訓練の場とする。
- (2)支部会員の家族、友人などを誘い、アマチュア無線の楽しさを知ってもらう機会とする。
- (3)青函交流の一つの場とし、交流を進める機会とする。

### 2 日時 令和6年9月15日(日)13:00~16:00

※当初11月17日の予定であったが、寒くなること、夕暮れがはやいことなど、遠隔地の方の参加を考慮し、9月に繰り上げた。この日は、石狩後志及び十勝支部も支部大会が開かれる予定である。北海道地方本部の内諾は得ている。

### 3 会場 北斗市農業振興センター(北斗市東前74-2 電話:0138-77-7667)

### 4 内容

#### (1)第49回JARL渡島檜山支部大会

全体進行 ( OTS )

1 開会 司会者 (13:00)

2 JARL 渡島檜山支部長挨拶 支部長 JH8CBH 佐々木朗

- 3 来賓あいさつ  
 北斗市長（代理かメッセージだと思います。）  
 北海道地方本部長（代理でコンテスト幹事） 中島 潤 JF8EPR 様  
 青森県支部長 岡田 竜也 JQ7ATB 様
- 4 祝詞紹介 JARL 会長 司会者
- 5 北海道地区社員紹介 司会者
- 6 第 22 回津軽海峡コンテスト入賞者発表 JH8NNW
- 7 令和 5 年度事業・令和 6 年度事業報告 JM8OTS
- 8 令和 5 年度会計決算・令和 6 年度会計予算報告 JM8AOH
- 9 監査指導報告 JH8CBH
- 10 質疑応答および意見交換会 (～13:40)  
 (休憩 記念撮影) (13:50)  
 撮影場所確認、案内すること

## (2)ハムの集い

全体進行 ( OGI )

- 11 パネルディスカッション (14:10-14:40)  
 「JA8 時代を語る」  
 パネラー 酒井 正人 JA8ANQ 様 木村 秀美 JA8KUT 様 もう一、二名調整中  
 司会 清水 深海 JA8WNR 様
- 12 グループ討議 (14:40～15:20)
- 13 ジャンクオークション大会(15:20～15 : 40)
- 14 抽選会 (15:40-15:45)
- 15 閉会 (司会者) (16:00)

※ 令和 5 年度の事業会計報告は、前体制となるが、諸般の事情で、今年度の体制で報告する。

## 5 一日の日程

時刻	内容	備考
9:00 頃	青森県支部接待	函館山、五稜郭公園 ～12 : 30 対応村田さん
10:00 変更	協力者集合	パンフレットなどの袋詰め、表示物、会場のセッティング、他
12:00	準備終わり次第	各自昼食
12:30	受付開始	
13:00～13:40	支部大会	挨拶、報告事項 入賞者紹介 質疑
13:50	記念写真	シャッターは、会場職員にお願いする。

14:10～15:55	ハムの集い	パネルディスカッション、グループ討議、オークション、抽選
15:55	閉会	ここで机を戻してもらおう。
16:00 前後	青森会員送迎	新函館北斗駅まで
16:00～	あと片付け反省	
17:00	すべて解散	

## 6 事前準備内容

- (1) 支部報（支部大会の案内）CBH
- (2) 渉外
  - ①祝辞依頼（紙またはビデオメッセージ） JARL 会長 CBH
  - ②出席依頼 青森県支部長 北海道地方本部長 北海道社員 北斗市長 CBH
  - ③報道依頼（北海道新聞、函館新聞、FMいるか、NHK） OTS
  - ④会場の手配 CBH
  - ⑤青森県支部の皆さんの行動掌握 CBH
  - ⑥前執行部への事業、決算の報告のお願い（無理と判断しました）
  - ⑦前夜祭の一切 OTS
  - ⑧津軽海峡コンテスト入賞者への案内状（CBH）
- (3) 印刷物 令和5年度事業計画、決算報告、令和6年度予算、事業計画、支部大会・ハムの集いの流れ 反省用紙 CBH
- (4) パンフレット類 JARL 電波適正利用推進員協議会 CBH 北斗市観光 無線機メーカーパンフレット 80部 及びそれらを入れる袋 OTS
- (5) 表示類作成 CBH
- (6) 横位置文字発注 CBH
- (7) パネルディスカッションの人選・調整 CBH
- (8) ハンディトランシーバー調達 NNW
- (9) 展示品、ジャンクオークション出品呼びかけ CSA

## 7 準備するもの

- (1) 基本事務用品（支部行事用に100均でそろえましたセロテープ、画鋏、ハサミ、ボールペン、サインペン、布テープ、養生テープ、のり、カッターなど）CBH
- (2) 横位置文字 支部旗 国旗（CBH） CBH
- (3) 表示関係（玄関前立て看板、受付、写真注文、ジャンク品展示場所、北海道地方本部、電波適正利用推進協議会、壇上に上がる人（役員、地方本部長、北斗市長、青森県支部長）
- (4) 写真関係 申込書兼領収書 CBH
- (5) 受付関係（受付名簿、名札、名札記入用紙、もろもろ入った袋）

- (6) 抽選箱 抽選用紙
- (7) パネルディスカッション (壇上の方の表示、模造紙6枚、付箋(赤、青それぞれ6つに分ける、サインペン、ボールペン) CBH
- (8) ジャンクオークション 出品票 クイズ(PPTで作成済み)、パソコン、プロジェクター、スクリーンは壁に映す CBH
- (9) ごみ箱 段ボール箱に、燃えるゴミの袋を入れて何か所か設置 (CBH)

## 8 当日役割分担

- (1) 青森県支部担当 岡田支部長ファミリー (レンタカー) とあと1名 責任者 OGI  
 函館山 (車またはロープウェー) と五稜郭タワーの小さな旅  
 ※飲食以外の村田さんの経費は、支部特別会計から出します。  
 支部大会後の新函館北斗駅までの見送り (CBH)
- (2) 来賓対応 責任者 CBH
- (3) 取材対応 責任者 OTS
- (4) 本番前までの準備 責任者 CBH 会場責任者 CSA (いる人全員で)
  - ・袋詰め ・表示類掲示 ・会場づくり ・受付準備
  - ・支部からの出展品 (アンテナ等) の整理名札付け
- (5) 受付 責任者 OGI 4名程度
  - ・受付1 氏名・コールサイン・市町・JARL会員の有無・抽選の希望の有無  
 資料の袋を渡す。来賓は、支部長へ連絡写真の受付 (送料込み300円)、  
 (W、PLY) 写真受付はAOHに引継ぎ  
 ビューローへ送るカードの受け取り CBHへ引継ぎ
  - ・受付2 抽選の受付 趣旨を説明して、参加される方に抽選券にコールサイン、氏名  
 を記入してもらい、券を抽選箱に入れる。( J )
  - ・受付3 ジャンクオークションの受付 趣旨や必要事項を説明し、説明票に必要事項  
 を記入してもらう。氏名と物品名などは受付でも控える。物品は、会場後ろの  
 展示場所に置いてもらう。(OGI )
  - ~~・受付4 駐車場誘導 (人数に余裕あれば、エンジンあれば) ( )~~
- (6) 支部大会 責任者 CBH
  - ・全体司会 (司会原稿は作ります) ( OTS )
- (7) 記念写真 責任者 RWB 補助4名程度
  - ・椅子を並べる。(AOH,EJK,NNW)
  - ・支部旗を用意し、会員の皆さんの集合を促す (CBH )
  - ・記念写真が終わったら、壇上、パネルディスカッション、机、椅子、表示準備  
 (AOH,EJK,NNW)
  - ・シャッターを振興センター職員に頼む人 (AOH )

・撮影 RWB シャッターは振興センター職員。 データ加工後 CBH へ引き継ぐ

(8)ハムの集い 責任者 CBH

・全体司会（司会原稿は作ります）(OGI )

①パネルディスカッション・グループ討議 責任者 CBH

動画撮影（要所要所） (RWB OTS) データは CBH へ

音声記録（パネルディスカッションの全て (RWB,OTS) データは CBH へ

机の並べ替え指示、模造紙・付箋紙・サインペン・ボールペンの配布

(AOH,EJK,NNW)

※イメージしてスムーズに流れるよう指示する。

記録用紙集約 発表したら集める (CBH) CBH へ引継ぎ

グループになったまま、オークション、抽選を行う。

②ジャンクオークション 責任者 (CSA )

展示場所から、出展品を持って来て、ステージ横に並べる。(手伝える人全員)

スクリーン、クイズ表示準備 (CSA ) 事前に PPT を作っておく (CBH)

司会 (CSA)

品出し、品渡し (CSA から依頼) 配送などの受付 (あれば) (CSA から依頼)

③ハンディ機抽選 責任者 NNW

司会 (RWB)

抽選する人 (会場から選ぶ)

(9)閉会 机を戻す

閉会の言葉 (XBR)

(10)後始末 (手伝ってくれる人全員) 責任者 CSA

・会場全体の復帰

・展示品の返却確認

・ジャンクオークションの引き渡し確認。

・すべて終了後、その場に残った人で、ミニ反省会を開き、良かったこと、次への課題など交流します。17:00 までには解散

※全体的な写真 (特に公的なもの) は池内さんに依頼しておりますが、支部役員も適宜写真を撮っていただければ幸いです。尚データは CBH へ

## 9 事後処理

(1) 礼状発送 (CBH)

(2) 写真の整理・発送 (CBH)

(3) 会計管理 (会場費支払い) (AOH)

(4) 当日のまとめ作成 諸記録 HP (CBH)

- (5) パネルディスカッション、各グループの話し合いのまとめ (CBH)

→50周年記念誌へ掲載

## 10 推進日程

- 7月19日 長万部局より大量のアンテナ譲渡受ける。支部大会で提供 DHR CBH  
7月28日 臨時役員会 CSA OGI NNW OTS CBH  
8月7日 農業振興センター下見 OGI、CBH  
8月8日 来賓（北斗市長、北海道地方本部、各支部長、北海道地域社員、青森県支部長）  
に案内発送 CBH  
8月26日 支部報発行（支部大会公式案内）CBH  
8月下旬 アムール、ドリームに支部報備え付け、支部大会前夜祭ポスター掲示 CBH  
9月14日 前夜祭 19時 函館市本町 8-20 みつわビル 2F くいもの屋わん 4400  
9月15日 支部大会  
9月16日 写真発注 HP更新、礼状発送、会場費支払い  
9月下旬まで 写真発送終了、出展品配達（あれば）完了

## 11 パネルディスカッション及びグループ討議について

- (1) 3名のパネラーより、JA8時代の思い出(特に失敗談、今だから言える話)を照会してもらう。最初に自己紹介を兼ねて、一人5分程度(司会者も含む)お話し、その後、司会の進行の元、自由に当時を振り返ってもらう。(30分)
- (2) 係りの指示により、6つのグループ(人数によって調整5, 6名のグループ)を作り、パネラーたちも分散してそのグループに入る。
- (3) 進行係、発表係を決める。これらが決まるまでは司会席に一番近い方が運営を担う。(3分)
- (4) パネルディスカッションを聞いて、また、アマチュア無線をやっていて、良かった、楽しかったと思うことをピンクの付箋紙に書く。自分のコールは書いても書かなくてもいい。枚数は何枚でもいい。(3分)
- (5) だいたいみんなが書き終わったところで、司会者から時計回り順に自己紹介と、付箋紙のことを話す。話し終わったら、ある程度同系列のことをまとめて、模造紙に、貼っていく。発表者は話を聞きながら、グループ名(アルファベット)と参加者コールサインを書く。(6分)
- (6) 次に、これからどんなことをがんばったらいいか、望んでいったらいいかを青い付箋紙に各自書く。(3分)
- (7) 司会者から先ほどと逆の周り順で、これからの方向性を発表する。話しながら、同系列をまとめ、模造紙に整理していく。(6分)
- (8) みんなでどうやったら、アマチュア無線が活発になるか、また、何が阻害要因なのか、

みんなで話し合う。どんどん、マジックで模造紙に記入していく。(5分)

(9)グループごとに、その場に立ち、話し合った内容を皆さんに伝える。(10分)

※パネルディスカッションの様子はビデオ撮影、写真撮影、グループ討議の様子も一部ビデオ撮影、写真撮影をする。

※内容は、50周年記念誌に編集して掲載する。また、ビデオは、50周年記念式典でサマリーを流したい。

## 12 ジャンクオークションについて

(1) 会場の都合で物品の売買ができないということです。希望者に無料でお譲りすることになります。希望者が多ければ、〇×クイズで決める。時間がなくなったらじゃんけんで譲る方を決める。

(2) 自分にとっては不要だが誰かが欲しいかもしれないものを各自積極的に持参する。

(3) アマチュア無線関連のもので無線機、アンテナ、部品、本、周辺機器、など内容は限定しない。動く、動かないなどは紹介ラベルに記入し、わかりやすくする。

(3) 不動品も可。もらったものを転売するのは遠慮してもらう。

(4) もらい手が見つからないものは、持ち帰りをお願いする。

(5) 支部からもHFのアンテナ、VUHFアンテナ、伸縮ポール、SHFビーム、タイヤマウンツ、50メガ八木など、多数出展する。

## 13 抽選について

(1) ハンディトランシーバー一台とする。IC-T10 19,800円(税込み価格)

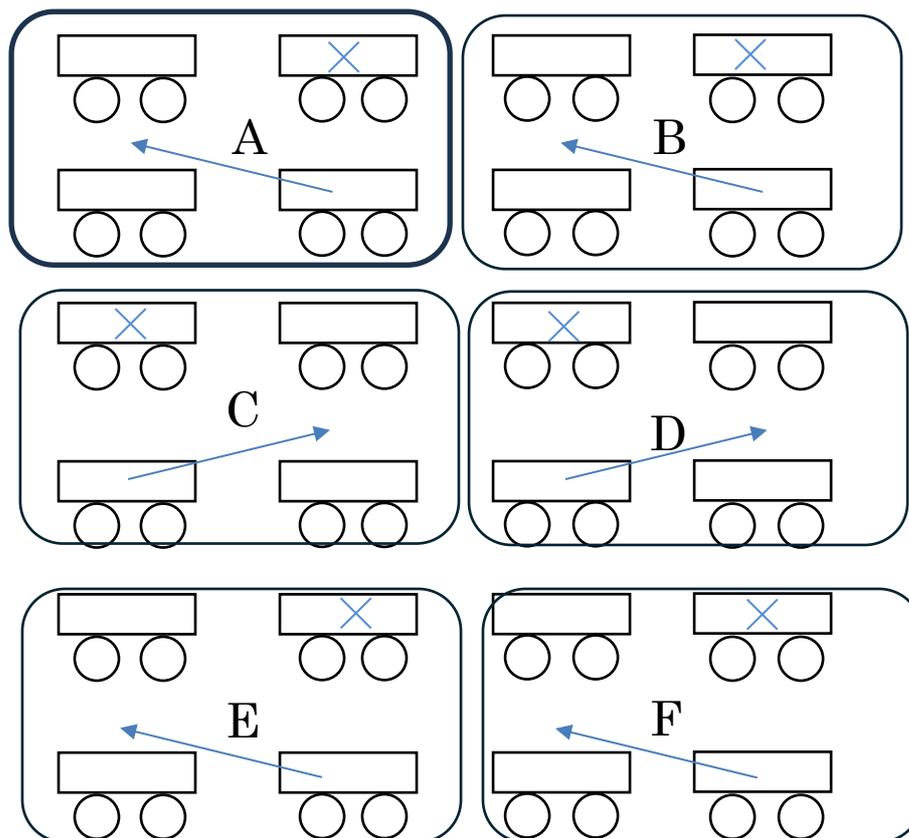
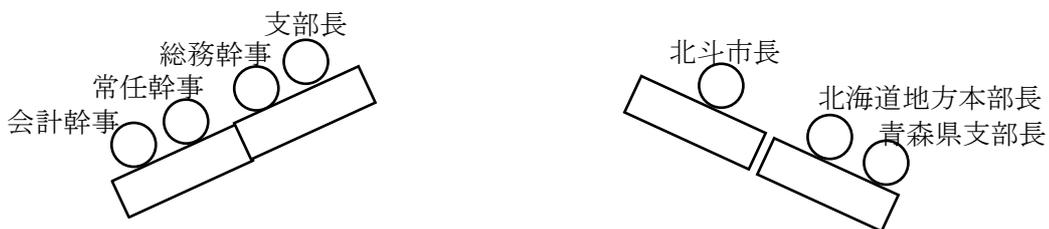
(2) 抽選対象はJARL会員非会員を問わない。ただし、アマチュア無線、JARLの発展を考えると、非会員は、当たったら会員になること。免許のない方は、免許を取って、会員になること。現会員を含めていずれの場合も、一年間でのべ100局(同一局との複数交信も含む)と交信を約束してくれる方としたい。(報告書などは求めない)

(3) 抽選の方法は、受付でルールを説明した上で、参加する方は、コールサインと名前を書いた札を抽選箱に入れる。抽選をする人は、公正を期するため、事前に決めておかず、司会者がその場でお願いする。

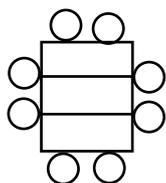
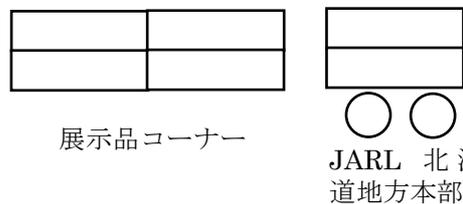
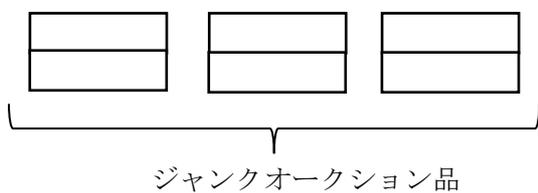
(4) 当たった人は、コールサイン(あれば)、氏名を皆さんに伝える。写真を撮る。

文中の J Wについては、協力者、確認が取れ次第正式に記入

## 14 会場設営図

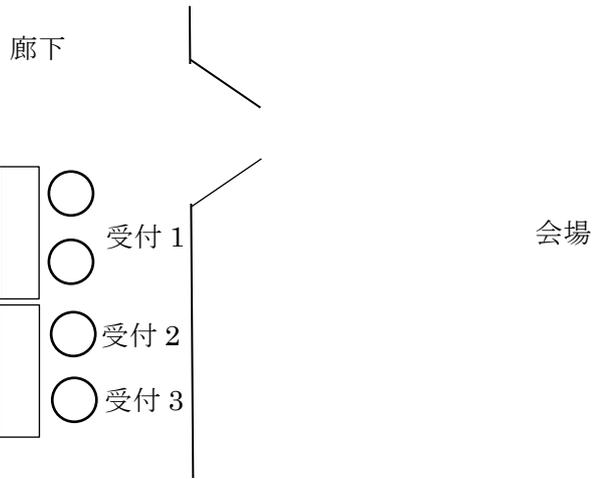


青の矢印は、話し合い時の机の移動 ×は使わない机



話し合いの時の机配置

若干左右の方は座りづらいが、話し合いの近さ、模造紙の配置を考え、前回と変更した



令和6年7月28日（8/24更新）

<佐々木 朗 JH8CBH>

## JARL 渡島檜山支部結成 50 周年記念行事の開催について

### 0：経過

過日の役員会でもお話したが、自分が30周年、40周年と周年行事に関わってきた。昨年が50周年となる。他支部では、特に行事は持たなかったようであるが、一年遅れにはなりましたが、伝統の渡島檜山支部の代表としては、先人の苦勞を称えつつ、60周年に向けてのくさびを打ちたいとの思いで、一年遅れになるが、この計画を提案し、皆さんの了承を得た。

### 1 基本方針

支部を支える会員が激減（2012年度281局、2024年度185局）しており、会員の高齢化が進み、新しく開局する方も少ないという現状にあります。この10年間で意識しつつも、あまり高望みをせず、しかしながら、アマチュア無線のこれからの原動力となり得るようなことを考えていければ良いと思います。特に、このままでいくと、10年後の60周年は、先行きが怪しくなっていくと思います。伝統の渡島檜山支部を守り、育てるために、若い方の行事への意識化を強化していきたいと考えます。

### 2 目的

- (1)JARL 渡島檜山支部が50周年を迎えることができたことを、会員一同で喜び合い、今後も、支部の発展を願うとともにJARL、JARL 北海道地方本部の発展を願う。さらに、支部会員としての帰属意識を高める。
- (2)若手の会員（概ね60歳未満）の方には、個別に声をかけ、実行委員会に入ってもらい、仕事を覚え、10年後を見据える機会とする。
- (3)諸事情によって、第一線を退いてしまった会員、元会員に積極的に連絡を取り、祝賀行事に参加し、また、アマチュア無線の世界に触れ、無線の楽しさを再発見する機会とする。特に若い世代の発掘に力を入れてアマチュア無線の楽しさを再発見を促す機会とする。
- (4)支部会員の交流の場として、今後の渡島檜山支部の発展及びアマチュア無線の発展を目指し、アマチュア無線の楽しさ、技術の向上などを交流する場とする。

### 3 主催 JARL 渡島檜山支部

### 4 主管 JARL 渡島檜山支部結成 50 周年記念行事プロジェクト委員会

## 5 祝賀会の基本方針（案）

(1)セルフサービスを取り入れ、できるだけコストを抑える。

オードブル、茶菓、基本の飲み物で 3000 円会費とする。飲み物の追加はその場で受ける。（現金払い）

(2)60 歳未満は、若者割引とし、経済状況によって、1000 円、または 2000 円割引とする。また、70 歳台以上、金銭的に余裕のある方は、5000 円をお願いしたい。赤字分については、記念誌の広告、それでも間に合わなければ支部特別会計から支出する。

## 6 式典の期日及び場所

11 月 9 日（土）18:00 JARL 渡島檜山支部発足 50 周年記念式典  
函館市湯川町 畑野商店内 「ゆったり一な湯川」（仮の予約 ok）

## 7 これまでの経過

2023 何度か前支部に 50 周年行事について打診（すべて回答なし）

7/6 北海道地方本部会議で構想の概略を説明

7/14 支部役員会で、構想の基本の承諾を得る

## 8 記念式典に向けて支部大会に向けて

(1) 内容(例)

①開会の言葉

②支部長挨拶

③祝辞 函館市長、JARL 会長、JARL 北海道地方本部長祝辞

④表彰 伊藤元支部長、船水前支部長

⑤祝杯

⑥スピーチ 伊藤元支部長、船水前支部長

⑦私とアマチュア無線 若い世代の方

⑧乾杯

⑨閉会の言葉

## 9 考えられる業務

(1)実行委員会の確立

最初に実行委員会（支部役員、協力員などを含めて若い世代を取り入れる）のメンバーを集める。特に若い世代の登用を大切にしたい。

(2)式典関係と祝賀会関係でそれぞれ業務を行う。

## 10 祝賀会関係で考えられる業務

- ①渉外 会場確保、オードブル、飲み物、茶菓、そのほかの手配
- ②参加者・来賓への案内、集約、名札
- ③会計関係
- ④挨拶、スピーチのお願い
- ⑤感謝状作成
- ⑥当日のしおりの作成
- ⑦一文字、各種表示、国旗、支部旗
- ⑧記念写真
- ⑨二次会？の手配
- ⑩会計処理

#### 11 記念誌で考えられる業務

- (1)基本方針 何部、どのような方法で作るか、製本はどうするか
- (2)推進日程 いつまで原稿を集め、誰が編集し、印刷し、製本業者に出す？か
- (3)予算 いくらかかるか、広告収入はどうするか。
- (4)内容の検討
  - ①挨拶 支部長、会長、地方本部長
  - ②特別寄稿 1名（顕著な活動をしている方）
  - ②この10年を振り返る 支部大会の実施、特別局の実施、その他支部行事のダイジェスト、支部会員数の変化
  - ③私のハムライフ 3～5名
  - ④各局短信

#### 12 推進日程

- |         |                          |
|---------|--------------------------|
| 8月24日   | プロジェクトの誘い提案              |
| 8月25日   | プロジェクト公募開始               |
| 9月中     | 忙しいけれど時間を見つけて第1回プロジェクト会議 |
| 10月中    | 外部への招待状、出席者集約            |
| 10月中    | 記念誌原稿依頼 編集作業 広告集め        |
| 10月下旬まで | 記念誌編集完了印刷                |
| 11月上旬   | 記念誌完成 参加人数確定 料理、飲み物など発注  |
| 11月9日   | 当日                       |
| 11月上旬   | 決算 記念誌各方面に発送             |

令和6年8月吉日

JARL 渡島檜山支部会員の皆様

JARL 渡島檜山支部

支部長 佐々木 朗

支部発足50周年記念事業プロジェクトへのお誘いについて

少しずつ朝夕の涼しい風に夏の終わりをを感じる候となりましたが、会員の皆様におかれましては、ますます、ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より支部活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、令和5年は、北海道が8つの支部に編成され、渡島檜山支部が誕生して50年を迎えました。この大きな節目を支部会員の皆様と一緒に祝福して参りたいと思います。

渡島檜山支部は、全国的に見てもとても活発な活動をしている支部であります。私がよく「伝統の渡島檜山支部」という言葉を使わせていただきますが、まさに、このような支部活動も長い伝統の中で培われてきたものであることがわかります。今回、周年行事が行われるのも道内で当支部のみです。支部の代表として、これまで支部を築いてきた諸先輩に感謝し、また、これからの時代を歩む方にエールを送る大切な機会であるにとらえております。

そこで、会員の皆さん（特に現職の忙しい世代の方々）にお願いがあります。この記念行事のプロジェクトと一緒に進めていくメンバーになって事業を進めてみませんか。私も30周年、40周年とこの事業に関わり、この事業のスピリット的なものを心に刻むことができました。プロジェクトの内容としては、記念誌の発行と、11月9日（土）18:00 湯の川畑野商店 での式典の運営が柱となります。

どんな組織においても、次の世代の育成をしないと、組織は先細りしてしまいます。特に、若い世代の方は、お仕事をお持ちでしょうが、どうか「忙しい」の一言で終わらせてしまわず、会議などの参加も、業務への参加も、ご自身ができることをできる範囲で、支部の10年に一度のお祝い事にエネルギーを使っただけであれば幸いです。経験者、未経験者が心をつにし、記念誌の編集などの仕事から、記念誌の袋詰め、式典の受付など、ご自身のできる範囲で、企画をしたり、お手伝いいただいたりと考えております。9年後の60周年は、若い世代の経験者がいないと、行事は成り立っていかないと思います。どうぞ、渡島檜山支部の伝統を守るためにも、力を貸してくださいませようお願いします。

具体的には9月に入って一度、プロジェクト全体の会議を開き、内容を詰めていきたいと思っております。照会や、プロジェクト参加などのお返事は、皆さんから、メール、電話などでいただければと思います。どうぞ、よろしく申し上げます。

JH8CBH 佐々木 朗

042-0922 函館市銭亀町 210-13 090-8277-9744 [asasaki@edu-hakodate.jp](mailto:asasaki@edu-hakodate.jp)

## JARL 渡島檜山支部 非常通信ボランティア研修 原案

期間：令和6年10月～令和7年3月 計4回（3か月1回）

目的：①非常通信ボランティアとしての士気を高める。

②災害時迅速な活動を展開するための知識・技能を習得する。

内容：非常通信に関すること（防災総合訓練と一緒？・非常通信訓練と抱き合わせ？）

場所：亀田交流プラザ・まちセン・香雪園研修所等を検討（ZOOM 等も検討）

講師：消防・総通・災害ボラ経験者等を検討中

参加者：非常通信ボランティア

募集方法：非常通信ボランティアに対してメール送信案内および郵送案内←開催1か月半前までに案内し、2週間前までに申し込み終了する。

### 非常通信ボランティア研修 実施企画

日時	内容	場所	講師
10月6日 10:00～14:00	函館市防災総合訓練視察	緑の島	視察研修
12月	非常通信ボラについて 非常通信概論	香雪園	松平
2月	非常通信事例について		松平

10月6日（日）10:00～14:00 緑の島実施

内容

●関係機関における防災訓練（消防本部・消防団・道警・一管函館海保・一管函館航空基地・陸上自衛隊第28普通科連隊・海上自衛隊函館基地隊・北海道防災航空隊・市立函館病院・五稜郭病院・函館医師会・道南ドクターヘリなど）

●自衛隊のカレー炊出

●災害救助車展示（消防・自衛隊・警察・開建など）

●放水訓練（消防本部・消防団）

を予定としています。

メインで関係機関防災訓練（地震および津波災害対応訓練と水防訓練の2つ）を見学して頂き、その後、各体験をして貰えたらと思います。

令和6年9月1日

JARL 渡島桧山支部  
非常通信ボランティア各位

JARL 渡島桧山支部長  
JH8CBH 佐々木 朗

## 非常通信ベストの頒布について

(時候)の候、皆様におかれましてはますます御清祥のことと御喜び申し上げます。

また、日頃より支部の運営に御理解・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度標記の通り非常通信ベストの頒布を開始することとなりました。この、非常通信ベストは、2022年に希望者に頒布したものと同一ものとなります。

また、左胸反射帯部にはコールサインの記載があります。希望者には右胸反射帯部に氏名・血液型を記載することも可能です。

以前、ベストを購入された方には、無償で右胸反射帯部の氏名・血液型シールを作成することも可能です。

非常通信ボランティアとしての士気を高め、また、非常通信活動時の自己安全のためにご購入をお待ちしております。

10月中頃に納品予定ですので、納品され次第ご自宅までお届けします。その際に支払いをお願いいたします。

現在のところ、1枚 3,260円を予定しております。

みほん



令和6年8月24日

<佐々木 朗>

#### 支部報の発行について

ダウンロードと郵送の現状について、次のような状況になっております。アマチュア無線の発展を考えると、准員、お返事のない方にも情報を届けることが、大切かと思ひ、郵送することにします。

ダウンロードに協力いただける方、ありがとうございます。

正員数	189
准員数	32
社団局	3
合計	224

#### 支部報の送付について

郵送別	内訳	局数
144件	郵送希望	22
	社団局	4
	准員	32
	返事なし	86
80件	送付必要なし	9
	ダウンロード	71
合計		224

「返事なし」は、6月に全会員あてに、文書を送って、ハガキなどで、回答を頂けなかった数

「送付必要なし」は、本人からの申し出、施設に入った、家族なので一部で大丈夫、などの理由

令和6年8月24日

<佐々木 朗>

## 青森県支部大会への参加について

青森県支部との交流は、今をさかのぼること20年以上前、上田支部長、佐藤青森県支部長の時代に、海峡を挟んだお互いの支部で交流を進めようということで始まった。津軽海峡コンテストもその交流の一つである。

コロナの年もあり、行き来ができない、支部大会自体開催できないなどがあったが、一昨年からは支部大会も復活し、交流も復活された。

今年も9月15日の渡島檜山支部の支部大会には、前夜祭に支部長家族とあと1名、さらに、支部大会には1名が来てくださることが決まっている。

人数が多い時は10名前後が行き来していたが、なかなか腰が上がらないというのも現状かと思う。

私も何回か参加しているが、交流としてはとてもいいもので、毎回、参加して良かったと思うことは間違いなしである。一度も経験したことのない方、青森の地酒を飲みたい方、いつもお空でつながる方とアイボールしたい方、一緒にいきませんか。

1 期日 令和5年9月28日(土)～29日(日)

2 場所 八戸市

前夜祭 9月27日(土) 夜 八戸市内宿泊

支部大会 9月28日(日) 八戸総合福祉会館 10:00～15:00

4 日程(仮案)

新函館北斗 16:48～はやぶだ 34号～八戸 16:15

前夜祭 宿泊 支部大会

八戸 16:14～はやぶさ 25号～新函館北斗 17:47

5 経費概算

交通費約22,040円 宿泊費8,000円 前夜祭5,000円

などが考えられます。

6 申し込み 先方の準備の都合もありますので、8月いっぱいぐらいまで佐々木へ